

[個 人]

氏 名 生 年 月 日	お ぐ ら ひ ろ し 小 倉 弘 大 正 1 4 年 8 月 1 2 日 7 7 歳
住 所	青 森 県 弘 前 市 大 字 宮 川 三 丁 目 1 5 番 地 7
職 業	無 職
功 績 の 概 要	<p>同氏は平成2年から約13年間にわたり、地域に所在する2公園（宮川第4児童公園及び宮川第5児童公園）の保全、美化活動を行っている。</p> <p>保全・美化活動として、週2～3回継続して園内のゴミ拾いや草木の手入れ、除草作業を行うなど、活動は多岐に渡っている。特に園内の清掃活動については、投げ捨てるの絶えることがない吸い殻や空き缶などの回収を、根気強く、地域住民の先頭に立ち率先して行っている。</p> <p>また、両公園は市内中心地に近く、幹線道路が整備され、大型小売店が立ち並ぶ都市空間に所在しているが、同氏の継続的な活動により、その中の貴重な緑が保全され、潤いのある空間として、付近住民のみならず、多くの市民に喜ばれ利用されている。</p> <p>さらに、公園の保全・美化活動の他にも、公園と連結している遊歩道の清掃活動など、様々な活動に率先して精力的に取り組み、地域の緑地保全活動に大きく貢献し、その活動内容は、地域住民の中でも他の模範になるものである。</p>

[個人]

<p>氏名 生年月日</p>	<p>たかなみ 高波 ハツヨ 大正10年3月17日 82歳</p>
<p>住所</p>	<p>新潟県東頸城郡安塚町大字牧野296-1</p>
<p>職業</p>	<p>農業</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同氏は、昭和54年頃からスイセン、コスモス、ハナショウブ、シバザクラ等の栽培を始め、所有する山を花畑として整備し、地域の人たちの目を楽しませ、生活に潤いをもたらしてきた。</p> <p>豪雪地帯である安塚町に適した宿根草の試験栽培や、ハナショウブの品種改良、様々な草花の栽培の指導など町の花作りアドバイザー、インストラクターとして活躍している。</p> <p>また、安塚町で昭和60年に始まった花いっぱい運動では指導的役割を担い、同町の全長20キロメートルに及ぶフラワーロードに植栽されているヤナギバヒマワリの普及に際しても、中心となって株分け・播種に努めてきたものである。</p> <p>さらに、同氏所有の花畑に地元安塚小学校児童が毎年訪問し、「花を育てる楽しさや、大切さ」、そこに住む生き物について学んでいる。</p> <p>このように24年に及ぶ緑化美化活動や自身の体験活動を通じて花と緑のまちづくりの大切さを子どもたちに教えるとともに、町内外の花愛好者の皆さんとの交流を積極的に展開している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かしましぎょぎょうきょうどうくみあい 鹿島市漁業協同組合</p>
<p>所在地</p>	<p>佐賀県鹿島市浜町 1 7 0 7</p>
<p>代表者</p>	<p>代表理事組合長 中島 敏男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同組合は、平成 7 年 3 月に鹿島市の 4 漁協が合併したことを契機に、鹿島市有林及び国有林を「海の森」と称して、クヌギ、ケヤキなどの広葉樹を中心とした植林や下刈りによる森林づくりを行っている。これまで約 1 1 . 2 ヘクタール、約 3 万 3 千 5 百本の苗木を植林している。</p> <p>当時、平成 6 年の希にみる少雨と猛暑が引き起こした水不足により全国各地で湯水問題が深刻であったときにおいても、鹿島市民の生活に支障を及ぼさないほど、豊富な水を供給している森林に、改めて上流の森林の大切さ、森林整備の大切さを再確認させられ、平成 7 年以降、毎年 3 月に「海の森植樹祭」を行っている。</p> <p>また、平成 8 年 3 月からは、組合関係者のみならず、鹿島市民（老人会、森林ボランティア等）にも呼びかけ、上下流域の住民一体となった市民参加型の森林づくりを行っている。</p> <p>さらに、平成 1 3 年 3 月に全国森林組合連合会との連携により、他県からも多くのボランティアが森林づくりに参加するなど、全国に向けた緑化の普及啓発の情報発信基地としての役割も果たしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かみとちくぼどうるあいごかい 上栢窪道路愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福島県相馬郡鹿島町上栢窪字善並 1 番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>上栢窪行政区長 紺野 廣頭</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、「豊かな心」、「生きる喜び」を合言葉に、地域づくりの一環として、昭和53年より地区を縦断する県道草野大倉鹿島線の路肩や公園等にサルビアとマリーゴールドを植栽し、2.1キロメートルにわたるみごとなフラワーベルトを構築するなど、緑化推進運動の模範となっている。</p> <p>その管理として、路肩除草、空き缶ゴミ拾い等を積極的に実施し、道路管理の経費節減にも貢献している。このため、花作りから植栽、除草清掃美化まで一貫して行えるよう、地区のボランティア組織との協力体制を確立している。</p> <p>また、平成13年8月には住民参加型の道路美化作業の模範として、県内で二番目の道路養子縁組制度（アダプト・ロード・プログラム）に関する合意書に調印を行い、道路管理者が行う管理レベルに比べ、よりきめの細かい道路緑化を実践している。</p> <p>さらに、サルビアとマリーゴールドの植栽は、県内から研修に訪れる団体もあり、他の団体の手本となっている。また、開花の最盛期には見事なフラワーベルトとなった植栽を見に訪れる人も多く、道路愛護及び緑化推進の啓蒙にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>さくまちしょうこうかいせいねんぶ 佐久町商工会青年部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長野県南佐久郡佐久町大字高野町 5 6 1 - 1</p>
<p>代 表 者</p>	<p>佐久町商工会青年部長 高見澤 義光</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同青年部は、昭和 5 5 年から「花いっぱい運動」に取組み、子や孫までにも手渡せる誇りある郷土づくりを目指して、町内を花でいっぱいにしたいという希望から生まれた事業を行ってきた。</p> <p>同町は長野県の東部に位置し、8 割以上が山林原野で占め、中央部を千曲川が南北に貫流している。同町の主産業は農業で、水稲のほか菊を中心に、カーネーション、バラ、アルストロメリアなどの花卉栽培が盛んで、全国に出荷されている。</p> <p>平成 1 1 年から、国道 1 4 1 号沿いの遊休地を借受けた土地を耕作整備し、花苗は佐久町から提供してもらい、約 6 0 0 平方メートルの土地に花を植栽している。</p> <p>平成 1 4 年の活動として、5 月には約 3 0 名の参加により土おこし及び花の植樹を行い、6 ~ 9 月には約 5 5 名の参加によりゴミ拾い及び草取り・水やりを行い、1 0 月には翌年に向けた整備・清掃を行うなど年間を通じた緑化・美化・清掃を行った。</p> <p>これら事業により国道を通るドライバーの目を楽しませると共に、地域住民の環境美化に対する意識高揚に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>しゃだんほうじん おおさか 社 団 法 人 大 阪 エ イ フ ボ ラ ン タ リ ー もりぐちしづ ネ ッ ト ワ ー ク 守 口 支 部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大阪府守口市 大宮通 1 - 1 3 - 7 守口市市民保健センター 守口市福祉部 健康生きがい室健康推進課内</p>
<p>代 表 者</p>	<p>支部会長 樋口 ミツ子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同支部は、「健康で明るく住みよい地域社会の実現」を目指し、昭和 2 9 年 9 月に結成され、現在会員数 5 , 5 0 0 名で組織されている。</p> <p>(社)大阪エイフボランティアネットワークでは、「エイフ環境づくり運動」の一環として、『公德心の高揚と環境美化運動』を推進しており、同支部においても、毎月 2 4 日の「清掃の日」を中心として、地区ごとに、公園・道路・駅前・ターミナル等の清掃活動、街路樹の除草、花壇手入れ、および除草等を行っている。</p> <p>また、活動 1 回あたりの参加人数は約 3 0 名で年間 1 5 回程度の環境美化運動を実施している。</p> <p>さらに、毎年 1 1 月上旬に開催される「市民まつり」でチューリップの球根 3 0 0 株を無料配布し、市内の緑化推進に貢献している。</p> <p>その他、『瀬戸内海をきれいにする運動』として、府民へ河川へのゴミ不法投棄防止の啓発運動並びにパトロールを行うほか、淀川河川敷、堤防等の清掃活動等を随時実施している。平成 1 3 年度は延べ 1 , 6 3 8 人の会員が活動に参加した。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>たかせうらかわすじ あい かい 高瀬裏川筋を愛する会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県玉名市高瀬 1 4 0 番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 猿渡 洋悟</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、平成 2 年 4 月より活動を始め、現在会員数 5 0 0 名で組織し、菊池川の堤防及び高水敷、裏川の菖蒲園並びに遊歩道等の除草、清掃等を行っている。</p> <p>菊池川支川裏川は、国道 2 0 8 号高瀬大橋の上下流約 6 0 0 メートルにおいて本川と併走し背割堤となっており、裏川の流れる玉名市高瀬は鎌倉時代後期よりこの地の経済や海外貿易の発展に伴い発達した。</p> <p>近年、地元商店街が高瀬の「町おこし」のひとつとして高瀬の「表と裏の町づくり」に取り組み、その中で高瀬の町の裏側の流れの整備を行ってきた。</p> <p>同会が河道内に植栽した 6 万 5 千本の花菖蒲は、昔の石垣堤とマッチした潤いのある河川景観を呈している。毎年 6 月には花菖蒲祭（コンサート等）を開催しており、薫風菊池川、裏川の辺りでは多くの人が憩いのひとときを楽しんでいる。</p> <p>また、河川清掃だけでなく、商店街の空き店舗を利用した「談義所」を設けて地域のコミュニティセンターとして交流の場を提供し、水環境をはじめとした学習会を行って地域の美化啓発に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>はしのしんりんあいごしょうねんだん 橋野森林愛護少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県釜石市橋野町第34地割35番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>団 長 菊池 正浩</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、緑の愛護活動を通じて地域社会に奉仕することを目的とし、昭和62年に橋野小中学校生徒児童をメンバーとして設立された。森林育成活動の実践は、橋野小中学校自体の活動として昭和20年代から脈々と受け継がれてきたものである。</p> <p>今日、少年団は、森林育成への直接的な貢献ばかりではなく、次代を担う少年少女の環境を保全する資質と能力を養おうという高邁な理念の下、生徒、父兄、地域住民一体の協力体制のもと運営されている。</p> <p>活動として、3つの学校林での枝打ち、下草刈り及びどんぐりから自宅で栽培したミズナラ苗の植栽などの森林育成を行うとともに、山・川・道路の清掃美化活動を行っている。</p> <p>また、町へ繰り出しての緑の募金のほか、酸性雨の調査、河川の水質・生物調査、野鳥の観察といった研究活動と成果の発表も行っている。</p> <p>さらに、地場産業と森林のかかわりを知るシイタケ栽培を行うとともに、売上を福祉施設へ寄付するなど幅広い活動を実践している。</p>